

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年11月

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・開園記念パーティー（力の不思議を感じよう編）

<テーマの設定理由>

- ・13回目の本園を祝う活動として、今年のテーマ「ひかり・つち・ちからの不思議を感じよう」をテーマに様々な活動を行いました。

- ・

2. 活動スケジュール

- ・乳児クラス、幼児クラスに分かれて、すくわくプログラムを行う。
- ・活動時間 0,1歳児クラス30分程度、2-5歳児クラス1時間程度。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・スロープ ・マット
- ・天秤 ・机
- ・フィルムケース ・いろいろな比重の材料（泥水、水、片栗粉、油など）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・フィルムケースにいろいろな素材を入れて転がしてみる。
- ・天秤を用意して、フィルムケースの重さを比べてみたり、分銅を入れて重さを知ったりする。
- ・子どもが発見した方法で遊んでみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

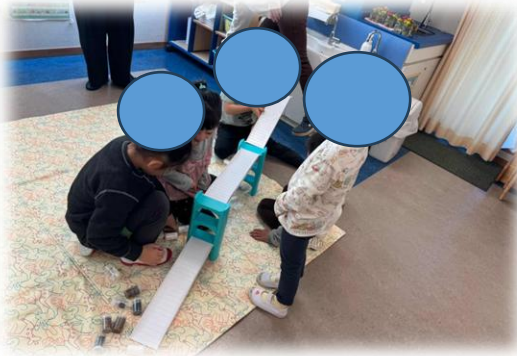
（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・フィルムケースにいろいろな素材を入れて転がしてみる。

始めは、色々な比重の物が入ったフィルムケースを転がして楽しんでいました。保育者が「どっちの方が早く転がるかな？」と問いかけると、スロープを2つ並べて、どちらの方が早く転がり落ちるか、やさロープを長くして、どのくらい早く転がっていくか、など発展させて遊ぶ様子が見られました。

- ・天秤を用意して、フィルムケースの重さを比べてみたり、分銅を入れて重さを知ったりする。
- 年中、年長児を中心に、片方ずつに違う重さのフィルムケースを入れて、どっちが重たいか比べる様子が見られました。2歳児クラスの子はどちらが重たい、ということがよくわからない様子でしたが、天秤が傾く様子を楽しんでいました。

活動が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



<振り返りによって得た先生の気づき>

- 遊ぶ環境を用意したことで、子どもたちはいろいろな方法で試す様子が見られました。保育者が子どもたちへ提案することで、スロープを並べたり、繋げたりして遊びが発展していきました。
- 天秤では、年中・年長の子はどちらが重たいということに気が付く様子が見られたのですが、年少や2歳児クラスの子では、天秤の傾きを見てもどちらが重たいということよりも、傾くこと自体が楽しいというように、年齢によって楽しさを感じるポイントが違っている様子が見られました。